

平成30年度 環境活動スタートプロジェクト事業

1 実施校

福島県立視覚支援学校

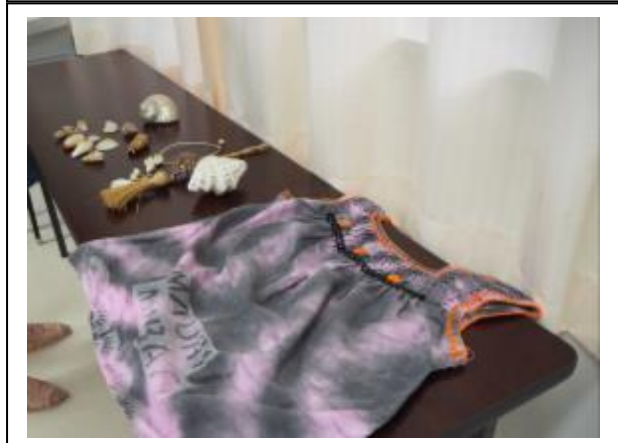
2 実施日

平成30年 11月 21日 (水)

3 講演会の様子

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマとし一般社団法人日本キリバス協会代表理事であるケンタロ・オノ氏を講師として実施しました。

講師の先生から温暖化によるキリバスの現状を聞くにつれ、生徒も教師も引き込まれ、皆目を輝かせながらじっと話に聞き入っていました。話の中で、温暖化が進むことによって、国土がなくなってしまうかもしれない危機にキリバスが陥っていることを知り、自分たちの生活と比較して考えさせられたり、今の現状に感謝したりと気づくことがたくさんありました。



4 講演を聞いての感想

- 私の周りにいる人々に教えてもらった話をして、少しずつこのことを広げていきたいです。こんなきれいなところがなくなってしまいそうと聞いて悲しくなりました。
- 今自分ができることがあれば小さなことからコツコツとやっていきたい。
- 今回の講義を聞いて地球温暖化についてよく考えていきたいと思います。
- 地球温暖化によっていろいろな被害があることは知っていましたが、それによって国自体が危ないところもたくさんあることを知りました。
- なにげなくやっている行動が地球温暖化につながっているかもしれないと考えると、もっと意識しないといけないと思いました。
- 太平洋諸国の人にとっては、自分たちのせいではないのに自国が海に沈むという危機に陥っているということがよくわかった。
- 自然が大好きで、守りたいと思っています。小学校四年生の時、原発事故で家と山々を失いました。そこに住んでいた人たちはつらかったと思います。私も離れたくないと思いました。キリバスを含む世界中の人々がそんな気持ちにならずに済む社会を作っていきたいです。
- キリバスという美しい国が、地球温暖化でなくなるかもしれない、そして人々、子どもたちの命の危機が迫ってきているということを、とても深刻な問題だと感じた。
- 自分が今できることや、あたり前になっていて気づいていない事に気づき、目を向けて見直す事が必要だと思った。愛をもって世界を見ていきたいし、世界への興味がかきたてられた日となりました。
- 国が違ければ、いろいろなことが違うから、違う面から物事を見られてよかった。